

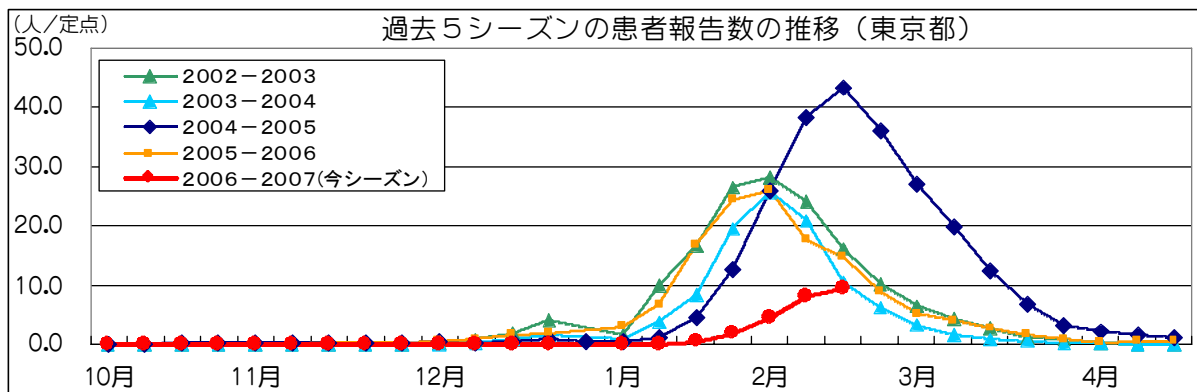
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

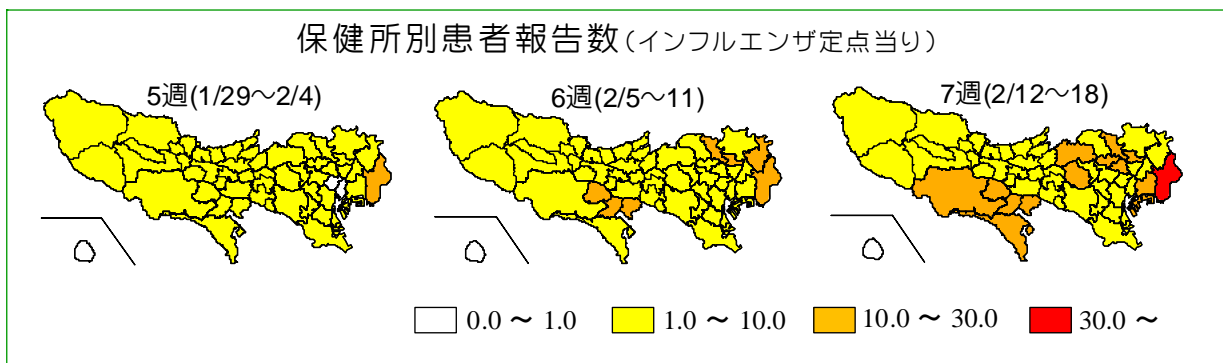
今号(第9号)のトピックス

- 第7週(2/12~18)のインフルエンザ患者報告数は 2,607人、定点当たり 9.41人 (去年同期 定点当たり 14.66人)
- 新たに、渋谷区で学級閉鎖
- 学級閉鎖1事例でAH3亜型とB型が同時に検出される
- 東京都の流行規模は、全国で27位
- 今季検出されたAH1亜型、AH3亜型及びB型ウイルスの遺伝子系統樹

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第7週(2/12~18)の患者報告数は東京都で 2,607人、定点当たり 9.41人です(去年同期 定点当たり 14.66人)。島しょを除く全地域で、流行の目安となる定点当たりの患者報告数1人を超えています。

す。江戸川区(31.18)、練馬区(12.67)、八王子市(12.62)をはじめとする11保健所管内では定点当たりの患者報告数が10人を超えています。

全国の患者報告数は 56,852人、定点当たり 11.91人です。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点142か所を含む282か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

2 東京都公立学校の学級閉鎖状況

2月16日~22日に、新たに、渋谷区でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
3週 (1/15-1/21)	13	3	1	2	0
4週 (1/12-1/28)	20	5	2	2	1
5週 (1/29-2/4)	36	21	1	17	3
6週 (2/5-2/11)	51	35	3	26	6
7週 (2/12-2/18)	33	14	1	11	2
合計			8	58	12

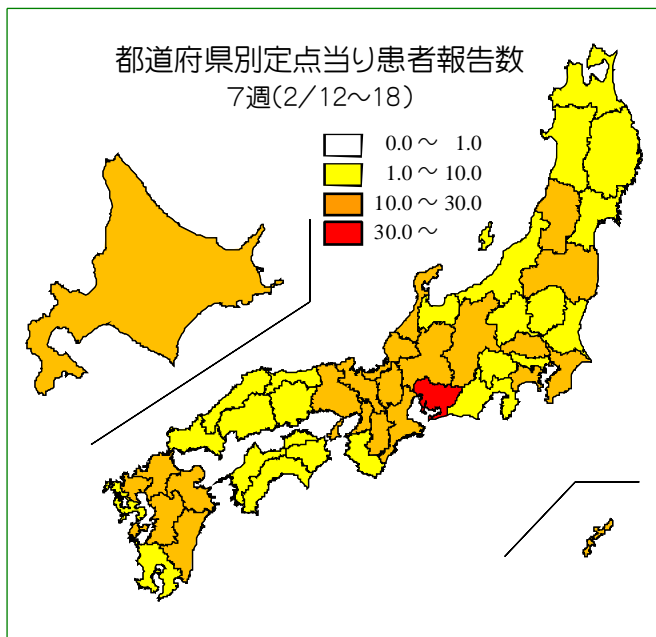
表2. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果

搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					AH1	AH3	B
1月19日	多摩小平	小学校	5	3	0	0	3
1月22日	葛飾区	中学校	2	1	0	0	1
1月22日	八王子	中学校	3	2	0	2	0
1月22日	多摩立川	小学校	4	3	0	3	0
1月23日	新宿区	中学校	5	3	0	3	0
1月24日	足立	小学校	5	5	0	0	5
1月24日	目黒区	小学校	5	3	0	3	0
1月24日	北区	小学校	3	3	0	0	3
1月25日	杉並	小学校	4	2	0	2	0
1月29日	荒川	中学校	5	5	0	0	5
1月29日	板橋区	小学校	4	4	0	4	0
1月29日	多摩府中	小学校	5	4	0	0	4
1月29日	町田	小学校	1	1	0	1	0
1月30日	練馬区	小学校	4	1	0	1	0
1月31日	江東区	幼稚園	5	5	0	5	0
1月31日	南多摩	小学校	5	3	0	3	0
2月5日	江戸川	小学校	3	3	0	0	3
2月6日	大田区	小学校	3	3	0	3	0
2月6日	世田谷	小学校	4	4	4	0	0
2月6日	池袋	中学校	4	2	0	2	0
2月7日	西多摩	中学校	3	3	0	0	3
2月14日	中野区	小学校	5	5	0	2	3
2月20日	渋谷区	小学校	4	-	-	-	-

-:検査中

表3. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果 (亜型別事例数)

	合計	インフルエンザウイルス				検査中
		AH1	AH3	B	AH3とB	
事例数	23	1	12	8	1	1



3 東京都と全国の検査情報

(2006年9月以降)

2月18日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型8件、AH3亜型58件、B型12件がPCR法により検出されています。

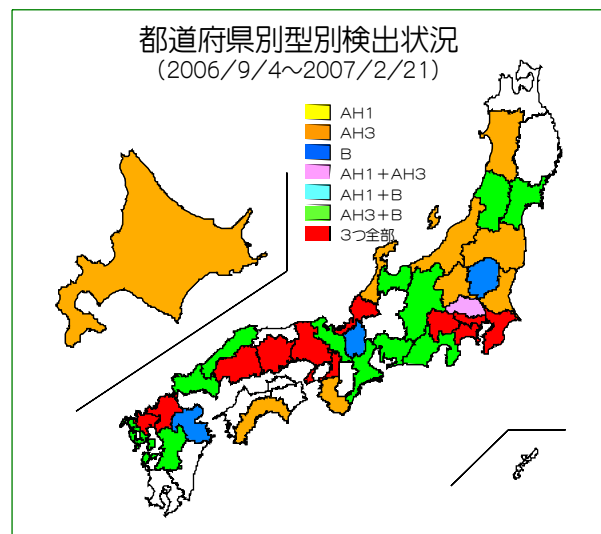
2月22日までに集団発生(学級閉鎖等)23事例の検体が当センターに搬入され、1事例からAH1亜型が、12事例からAH3亜型が、8事例からB型が、1事例からAH3亜型とB型がPCR法で検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、2月21日までに、12都府県からAH1亜型、33都道府県からAH3亜型、26都道府県からB型が報告されています。

4 全国の流行状況

第7週(2/12~18)現在、全都道府県で流行の目安となるインフルエンザ定点当りの患者報告数が1人を超える状況にあります。愛知では定点当りの患者報告数が30人を超え32.85人になっています。福岡(21.71)・三重(21.48)をはじめとする23道府県では定点当りの患者報告数が10人を超えています。

東京(9.41)は全国で27番目になっています。



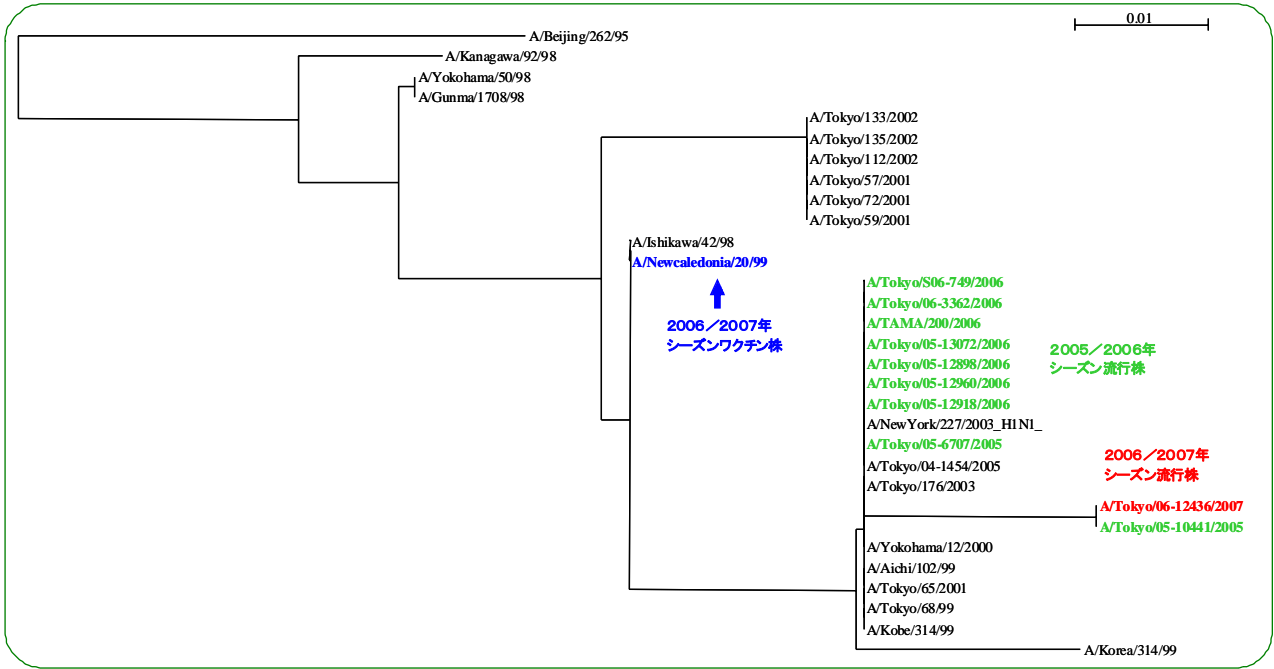
専門家向け情報

1 AH1亜型、AH3亜型及びB型 ウイルスの遺伝子系統樹(東京都)

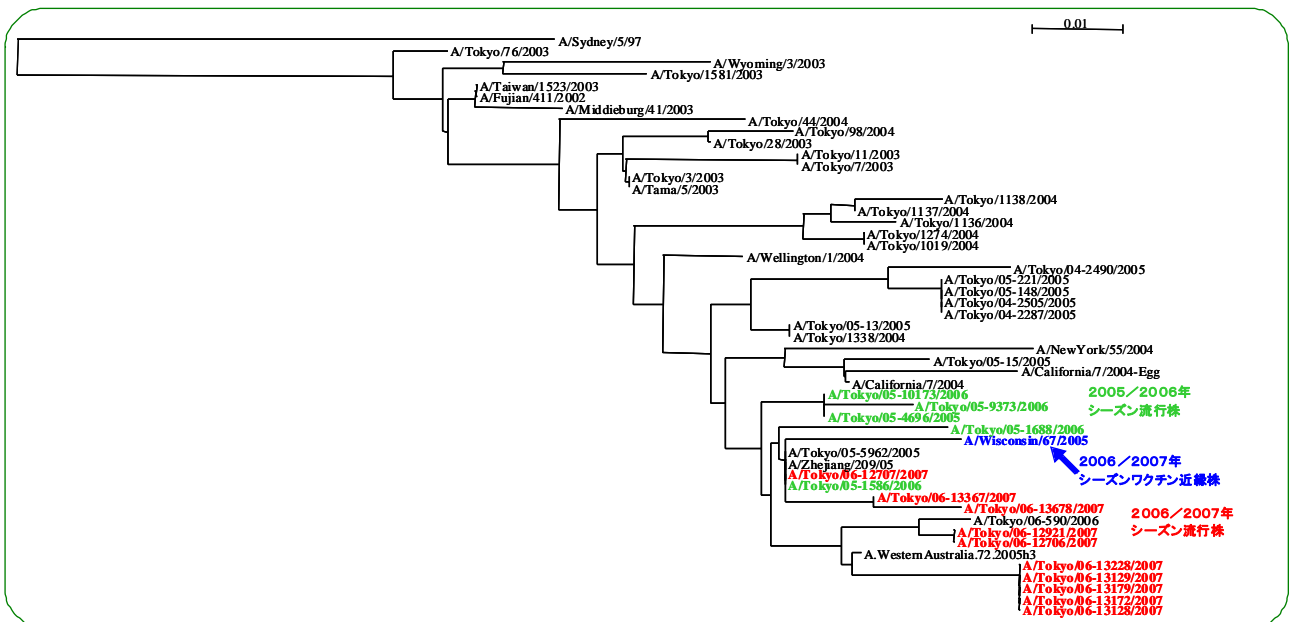
東京都における2006/2007年流行株はAH3亜型とB型を中心とし、さらに、AH1亜型を含めた3種類の型のウイルスが検出されている。B型及びAH1亜型は2005/2006年シーズンと同様の株が、AH3亜型について

は、昨シーズン流行株とは若干異なる傾向が認められるものの、今シーズンワクチン近縁株を含んだ群に含まれることが判明している。

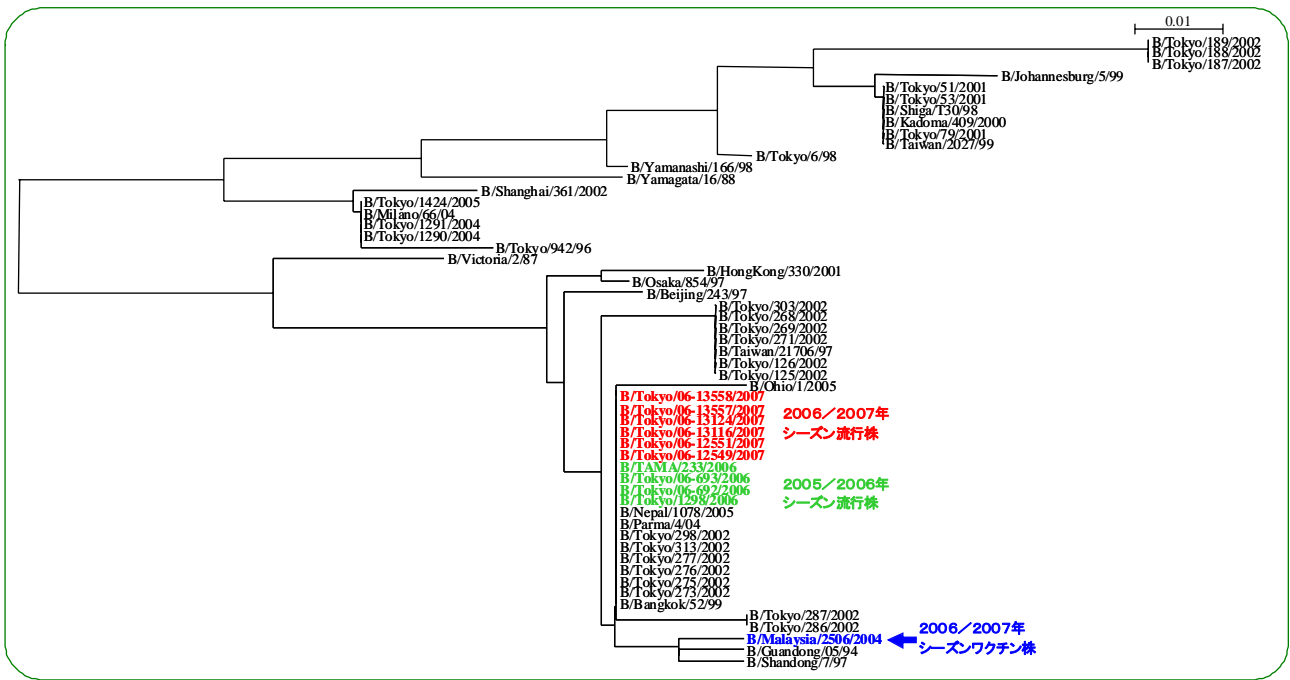
(微生物部 ウイルス研究科)



東京都におけるAH1亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹



東京都におけるAH3亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹



東京都におけるB型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

idsc@tokyo-eiken.go.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/



古紙配合率70%再生紙を使用しています